


スイラン	<i>Hololeion krameri</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	準絶滅危惧
		キク科
選定理由	生育地が急激に減少し、個体数も大きく減少しており、更に減少すれば個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は高さ50-100cm。根出葉は開花時にもあって、基部につく茎葉とともに線形で、長さ15-30cm、幅1.5-2cm。頭花は枝の先に1個ずつついて、直径3-3.5cm、舌状花と筒状花からなり、小花は黄色。総苞は円柱形、長さ約10-12mm。	
生態的特徴	湿地に生える多年草。花期は9-10月。	
分布状況	日本に固有で、本州の中部地方から九州に分布する。岐阜県では県北の一部及び県南の東部と中部に見られる。	
減少要因	開発による湿地の埋め立て。	
保全対策	生育する湿地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘